

土山茶ブランド力強化のための 「土山一晚ほうじ」の生産拡大

甲賀農業普及指導センター

【普及活動のねらい・対象】

甲賀市土山町は、「近江の茶」の7割以上を占める県下最大の茶産地ですが、全国的に見ると生産量は少なく、土山茶の知名度は低い状況にあります。このため、ブランド力の強化を図るべく、滋賀県茶業会議所ブランディング部会や土山町茶農家、関係機関が協力し、花のような香りと焙煎香を兼ね備えた新ジャンルの茶種「土山一晚ほうじ」を開発し、令和4年9月1日から販売を開始しました。当センターでは、「土山一晚ほうじ」原料茶の安定生産と生産拡大を推進するため、花香を引き立てるための萎凋技術の習得と、生産販売体制強化の活動を支援しました。

【普及活動の内容】

(1)「土山一晚ほうじ」の生産拡大に向けた萎凋技術の習得支援

取組農家の萎凋技術の向上を図るため、原料茶の求評会と萎凋技術の研修会を開催しました。また、萎凋茶の製造経験が乏しい取組農家には製造指導を行いました。同時に、萎凋技術の高位平準化を図るため、取組農家に製造工程の記録を促し、萎凋茶生産マニュアルとして取りまとめました。

(2)「土山一晚ほうじ」の生産販売体制の活動支援

生産販売体制を強化するため、取組農家と販売業者の間で意見交換を実施しました。また、販売促進のため、11月に新名神土山サービスエリアでのPR活動を支援しました。



写真1 原料茶の求評

【普及活動の成果】

萎凋技術の習得支援では、求評会や研修会、巡回指導によって、取組農家の技術向上を図ることができ、取組農家数も新たに2戸が加わって10戸となりました。生産販売体制の活動では、意見交換会で販売方法等について活発な議論が交わされたことで、取組農家と販売業者の連携が高まりました。PR活動では消費者の評価も上々で、取組意欲はさらに高まりました。引き続き、本年度作成した萎凋茶生産マニュアルを活用し、「土山一晚ほうじ」の安定生産と生産拡大に向けた支援を行います。

◎対象者の意見

一晚萎凋させた茶葉は水分が少ないので、いつもの製茶と異なり、製茶機械の調整が難しかった。萎凋製茶指導をしてもらえ、初めてでも安心して取り組めた。(新規取組農家 T氏)